



【 「自己有用感」を高める井波っ子 】

○ 校庭には、「車道」と「歩道」とを区切る「だいたい色の線」が書かれています。登下校の際に、子供たちは、だいたい色の線のグラウンド側の歩道を歩いています。



○ 今週の朝、6年生と1年生の2人の子供が一緒に歩いていました。しばらくして、1年生の子供が車道に出ました。すると、6年生の子供は、「こっちを歩くよ。」と言って、1年生の子供を歩道側に戻しました。**温かい思いやりの心、上級生としての自覚**を感じました。また、「**自分の命は自分で守る**」ことを、**自分から実行**していることに感心しました。私はとっさに、6年生に「ありがとう。」と言いました。

○ 本年度の「**重点目標**」と、「**行動目標**」は次のとおりです。

- | | | |
|--------|---|-----------|
| ＜重点目標＞ | 「 主体性の向上 」（自分から） | ※他と関わりながら |
| ＜行動目標＞ | ○社会性・・・「 毎日、人の役に立つことをする。 」 | |
| | ○学力（学ぼうとする力）・・・「 毎日、自分のハテナをもつ。 」 | |

○ 上記の行動は、まさに「**自分から**」行った行為です。また、安全性を守るという「**1年生の役に立つ行為**」です。「**他に関わる行為を自分から行う**」姿です。

○ また、教室内でも、Aさんが教科書の何ページを見るのか分からなかったとき、BさんがAさんの席まで行き、教えてあげていました。**美しい光景**でした。私は、思わずBさんに「ありがとう。」と言いました。**言わずにいらなかったのです。**これも、「**自分から**」**「仲間の役に立つ行為**」です。



○ このような行為は、私の知らないところで多くの子供が行っているはずで、全てを発見することができずに残念です。今後、このような行為を見つけたら褒めてあげたいです。そして、多くの方々が、**重点目標や行動目標に迫る行為を見付けられたとき、ぜひ褒めて、自己有用感が高まることを願っています。**